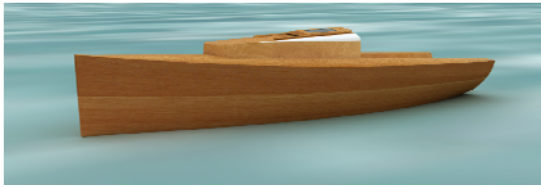


WOOD FRIENDER 24



■ WOOD FRIENDER 24 の特徴

軽排水量、バルブキール、カーボンマストフラクショナルリグ、バウスプリットを使用してのジェネーカーを展開する木造ハイパフォーマンスボートです。ワンサイズ上の FRP 艇と比較してもボートスピードは格段に速くなっています。最新鋭の流体力学の船型を有します。

■ WOOD FRIENDER 24

操縦性に優れたバランスのよさ、どんな海面の状態でもレスポンスのよさを追求した設計となっています。ディンギーのようなスピード感と速いレスポンスがあります。最新のカーボン成形技術のアレンジした VQ[®] (バキューム) 工法によるビスを一本も使わない木製モノコック構造により FRP 艇では得れない暖かくメロディックで滑らかな乗り心地を体感することができます。ハイテク成形により従来の木造艇よりもメンテナンスが格段に楽になっています。クラシック&最新・木造&カーボンの新しい組合せにより世界に1つの愛機を創造します。このような特徴からレースのみでなく、軽快で優しく速い走りを堪能すると共に愛機としてじっくり愛でることができる艇でもあります。

小型木造艇ではありますが設計には金井亮浩氏によるアメリカズカップと同じ科学的アプローチを採用し、CFD によるシミュレーション、帆走性能を予測する VPP などを実施。金井氏のこれまでに蓄積した船型開発ノウハウを活用し、抵抗の小さい船体、バランスの良い配置を実現しています。

設計から建造までメイドインジャパンの挑戦です。

■ スペック

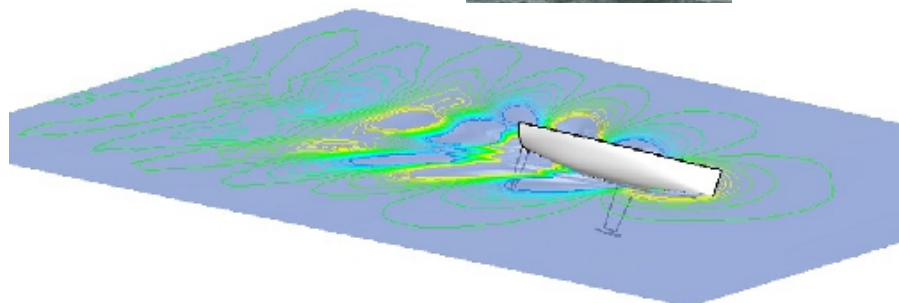
ハルはマホガニー&オークを VQ 工法によるトリプルプランキング、キールは鉛のバルブと鋳鉄のストラット、マストはカーボン、ブームはアルミ、バウスプリット・ラダーは木製 (オプションでカーボン製品有り)

Loa	7.200m	I	8.76m
Beam	2.325m	J	2.45m
Draft	1.880m	LP	2.70m
Disp	1150kg	ISP	9.88m
Keel	520kg	TPS	3.45m
		P	8.80m
		E	3.80m
		BAS	1.02m



■ 船体設計

CFD 計算により抵抗が小さい最適な形を設計しています。最新の CFD では、タンクテストにも負けない精度と、より実船に近いシミュレーションが可能であり、より高い性能を追求する事ができました。



■ 構造設計

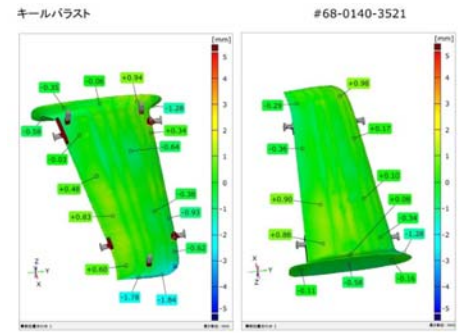
金井氏と共にアメリカズカップと一緒に設計を行ってきた高橋太郎氏との共同設計により ABS(American Bureau of Shipping)基準に適合したしっかりした構造で、オフショアでも耐えうる構造になっています。



■ キール/ラダー設計

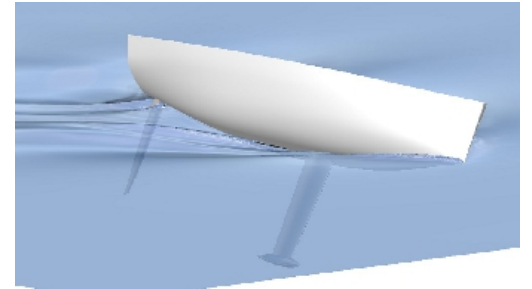
抵抗が小さく、できるだけ重心の低いキール形状になっています。ここでも CFD をツールとして使用し、最適な形状を求めています。またラダー形状も同様なアプローチで設計し、艇の全体バランスが最適となるよう配置しています。

キールストラットの製作には CNC マシンによる発砲型を使用し、鋳物を ATOS（非接触三次元測定機）で計測、寸法制度を確認図面との誤差±2mm 以内としています。ストラット先端には最新型の砲弾バルブを装備しています。



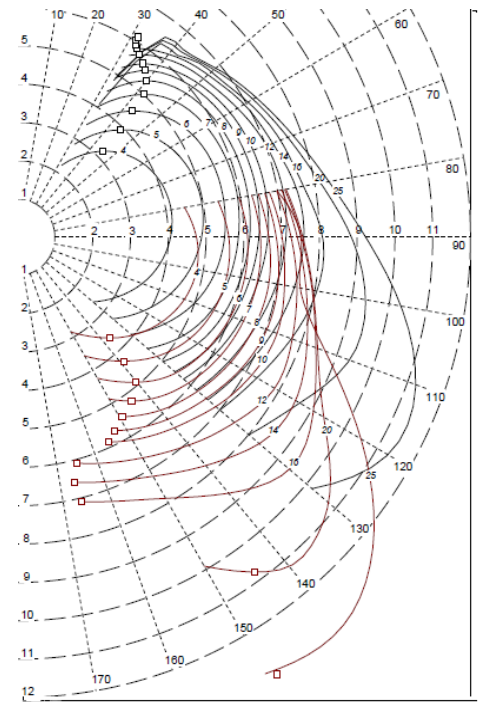
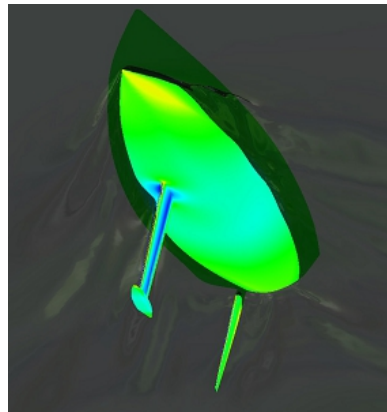
■ 性能推定

艇の性能を VPP 等を用い推定し、様々な配置、船体とキールの組み合わせなどを試すことが可能です。これにより最適な設計を選択しています。またセーリング性能を CFD で把握し、性能評価の制度を向上させることが可能です。



■ 実際の性能と設計へのフィードバック

WOOD FRIENDER 24 の試作艇のセーリングデータから実際の性能を解析し、より速いチューニング、走らせ方、クルーのポジショニング、セールトリムなどを明らかにしていきます。



■ 船内

余分なモノを取付出来ない木造極小空間だからこそ、オーナー様のライフスタイルを凝縮した思い切った空間を造ることができます。世界に1つの自分だけのライフスタイルを形にしていきます。また、FRP 艇の泣き所「結露」の問題も木の持つ高機能・呼吸により理想的な湿度管理を行い解決しています。



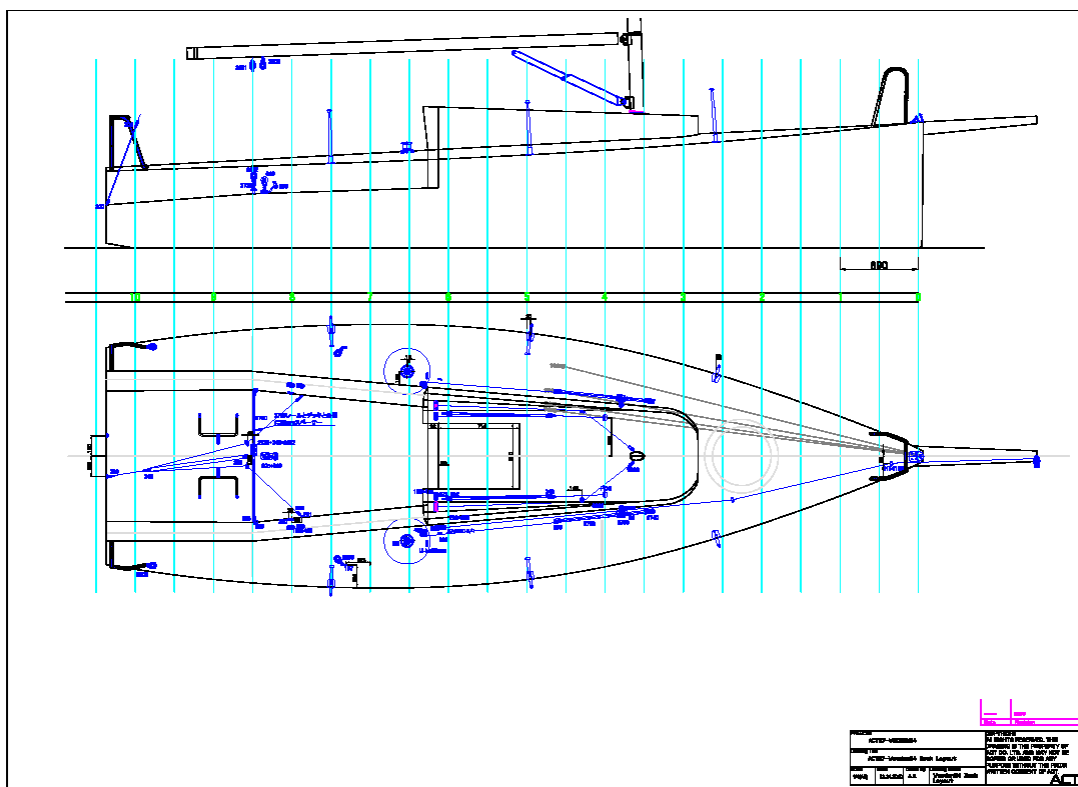
夏涼しく、冬暖かいという断熱性、デッキに腰掛けて寒さが伝わらないなどの人の感性に直接訴えかける優しさもございます。

強化プラスチックではない本物の“木のもつ優しさ”を感じていただけます。

■ カスタマイズ

WOOD FRIENDER 24は従来の型を用いて量産する方式ではなく3Dデータを活用して直接建造する方式を進めています。この工法を進めることで木造艇でありながら最新のレースボートにも引けを足らない設計性能を引き出すことができ、オーナー様の希望により最新のデザインにアップデートする事も可能です。また従来の木造艇と比べて工期の短縮や工程の簡略化が可能となり、価格にも反映することができます。

オーナー様のライフスタイルに合わせて艇の使用目的、艀装、内装を自由にアレンジすることができますので量産艇ではありますがワンオフ艇建造と同様の建造構想・過程から艇を育てる楽しみを存分に味わっていただけます。世界の何処にも無いあなただけの愛機を建造します。



ビルダー略歴

梅川尚敬 (うめかわ なおゆき)

木造ヨット造船所に10年間勤務。レース活動を中心としたヨット暦25。独自の木造VQ工法を確立する。

お問い合わせ先

木造探検造船所 **WOOD FRIENDER**

Tel: 050-3558-9995 E-mail info@woodfriendr.com <http://www.woodfriendr.com/>